

From 投稿コーナー

ワンテーマアンケートの結果を大公開！
読んでいるだけでぞっとする恐怖体験から、オバケより怖い(?)家族のお話まで、今回もたくさんの投稿をいただきました！

期間：2012.6～2012.9

テーマ「恐怖体験大募集」

◆実体験・聞いた話◆

- *友人とホテルに泊まった時のこと。鏡を見ていた友達が突然「パンを買いに行こう」と言い出し外へ出ること。なぜ急にパン？と聞くとベッドの下にナイフを持った男が鏡越しに見えたと言う。(康充さん/13歳)
- *キャンプ場の森の中でうしろから下半身や上半身のない人についてこられたことが何度かあります。(モムさん/14歳)
- *台所で歯をみがいていた時、ぱちっと光が見えたんです！まさに恐怖！！(ロビンさん/14歳)
- *だれも家族でけがをしている人いないのにげんかんに血がたれていました。うちは呪われています。(NATSUMEさん/18歳)

◆家族・先輩◆

- *私の父は怒るとものすごくこわい。父は普段から短気ですぐイラッとするので、いつもこわいです…。(彩夏さん/13歳)
- *私はいつも返事ができないと部長に怒られます。それが恐怖体験です。(笑)(みみうさぎさん/11歳)

◆習志野都市伝説◆

- *無量寺にうしみつ時に行くと幽霊が…。(みうさん/11歳)
- *あるお祭りの時に、六中の外周コースを友人と肝試しをしに行った時、林から「ウッアー」という声でした。ぶきみで近よりませんでした。(お寺さん/13歳)

意外にも、聞いたお話と同じぐらい、実体験らしきお話が多くてびっくりしました！投稿してくれたみなさん、ありがとうございました。

第18回ワンテーマアンケート実施中！

今回のテーマは「あなたにとってのごちそうは？」
みんなの投稿お待ちしております！

今回のアンケートでは食欲の秋ということで、みなさんから今まで食べた中で一番のごちそうだと思ったものを聞いてみたいと思います。有名店のシュークリーム、卵かけご飯、お母さんの手料理、彼女(彼)の愛がたっぷりの黒こげクッキーなど色々なごちそうをお待ちしております！



と顔を洗うのが怖くて、オバケがいつ現れてもびくびくしないように左右半分ずつ洗っていました。(おもち)

子供の頃、お祖母ちゃん家にあるモナリザの絵の目が夜になると光るのではないかとビクビクしながら寝ていました。(へん)

高校生の時、出ると噂のあった音楽室で見てしまいました。でも、そのあと見回りに来た担任が一番怖かったです。(わん)

幼い頃、よくハニワに追いかける夢を見ました。めちゃくちゃ怖かったです。(LLO)

ティーンズレター 第22号はいかがでしたか？次回は春頃に会いましょう♪

編集後記

2012年11月発行



ヤングアダルト通信 VOL.22

習志野市立大久保図書館

習志野市本大久保 3-8-19

TEL: 047-475-3213

【PC版】<http://www.city.narashino.chiba.jp/toshokan/>

【携帯版】<https://m.narashino-lib.jp/>



QRコード

どっくん&どっくん雪だるま

2人並んでハイ、ピース!





ティーンズコーナー BOOK NAVI

ティーンズコーナーの本をテーマに沿って紹介しているBOOK NAVI。秋も終りに近づき、だんだん寒くなってきて、朝起きるのがつらくないですか？

そんな季節を楽しく過ごすために今回のテーマは【冬】。

小説から編み物、写真集などなど、「The 冬」という本たちを紹介します。

『雪国』 川端 康成／著 角川書店

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。」で始まる、ノーベル文学賞受賞作家川端康成氏による、日本文学の代表作といってもいいほど有名な作品です。

雪国のひなびた温泉街での、駒子という女と島村という男との、恋物語でもない、愛憎劇でもない、えもいわれぬ距離を描いています。

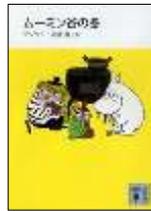
人の世の哀しさと美しさを描いて、日本近代小説屈指の名作に数えられる一冊です。



『ムーミン谷の冬』 ヤンソン／著 講談社

真っ白な雪にとざされたムーミン谷。パパとママといっしょに冬眠に入っただけなのに、ムーミントロールだけ春がこないうちにたった一人眠りからさめてしまいました。春になるまでの間、冬の厳しい寒さと孤独に耐えながら、はじめて知る純白の雪の世界ですばらしい冒険をこころみます。

様々な経験を積んでいくムーミントロール。冬のムーミン谷を舞台にヤンソンがつづるファンタジー童話の傑作です。



『雪の結晶』 ケン・リブレクト／著 河出書房新社

冬と言えば雪ですよね。雪の結晶が六角形だということは有名だと思いますが、なぜ結晶はそのような形になるのか？六角形以外にも結晶は存在するのか？など、意外と知らない雪の結晶のあれこれが詳しく書かれています。色々な結晶の写真も載っているので雪が降ってきたときにはこの形の結晶かなと想像してロマンチックな気分を味わってください。



『コウテイペンギンの幸せ』 内山 晟／著 青葙社

南極で暮らすコウテイペンギンたちの様々な姿をとらえた写真集です。-40℃の世界でブリザードに耐えながら生きている姿を見ると、私たちも寒い冬を耐えて過ごそうという気持ちになります。立ったまま寄り添って眠っている写真は仲のいい兄弟のお昼寝みたいで微笑ましくなります。その他にもかわいらしい姿の写真に癒され、添えてある一言にほっこりとした気分になれるそんな一冊です。



『雪蟻螂』 紅玉 いづき／著 アスキー・メディアワークス

長いあいだ戦い続けてきたフェルビエ族とミルデ族。お互いの族長は戦いに終止符を打つため、自分たちの子ども=次期族長である2人を結婚させることを決めた。時が流れ美しく強く成長したフェルビエの女族長アルテシアは、先代の意思に従い、宿敵だったミルデ族へ嫁ぐため、供をたった2人だけ連れ、極寒の冬の雪山へと旅立つ。

『雪蟻螂』を入れて「人喰い物語」三部作といわれる『ミミズクと夜の王』『MAMA』もあわせてどうぞ。



『理由(わけ)あって冬に出る』 似鳥 鶏／著 東京創元社

吹奏楽部員の中に、「学校の芸術棟には夜になると半年前に行方不明になった吹奏楽部の先輩の幽霊が出る。」という噂が広まっていた。成り行きで調査をすることになった高1美術部の葉山君。しかも噂はそれだけではなく学校にはつきものの「壁男」という怪談もあるという。夜の学校で葉山君たちにいったい何が起きるのか？事件は解決できるのか？ときどきの学園ミステリーです。



『はじめての棒針あみ』 雄鶏社

『はじめてのかぎ針あみ』 雄鶏社

『ゆびで編む冬小もの』 広瀬 光治／著 雄鶏社

今年の冬は編み物を始めてみてはいかがでしょう？こちらの3冊はどれも初心者にも分かりやすく作り方が紹介されています。編み物といえば棒針あみや、かぎ針あみがメジャーかもしれませんが、道具がなくても毛糸さえあれば指でも編めるんです。自分のやってみたい編み方でぜひチャレンジしてみてください！



「きつねのおきゃくさま」サンリオ



「あまんきみこ童話集1」ポプラ社

(担当…おもち)

数ある作品の中でもみなさんに一番おすすめしたいのは『きつねのおきゃくさま』です。そんな事を企みながらキツネはやせ細ったヒヨコ・ウサギ・アヒルの面倒をみはじめます。しかし一緒に暮らすうちに誰かに愛されることのおたかさを知ってしまったキツネ。最後には思いもよらぬ展開が待っています。一巻から五巻まで出ている『あまんきみこ童話集』では、第一回児童文学者協会新人賞を受賞した『車のいろは空のいろ』など、代表作の数々が楽しめます。やわらかくてどこまでも優しいあまんきみこさんの世界がふんだんに感じられる作品を読書の秋にぜひ読んでみてください。

my favorite
好きなモノを好きにだけ語るコーナー
Talk 11 : //
あまんきみこ

みなさん、こんにちは！
ティーンズ担当のおもちです。さて、今回は私が小さい頃から大好きなあまんきみこさんの作品を紹介したいと思います。